

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文小学生の部  
(県知事賞 最優秀賞)

「地しんがおきたら」

鹿児島県 鹿児島市立花野小学校 6年 熊迫<sup>くまきこ</sup> 乃愛<sup>のあ</sup>

ブゥーブゥー

「地しんです。地しんです。」

歯医者さんの待合室にいた時のことです。急に母のスマホからアラームが鳴り、私はびっくりしました。その直後、建物がゆっくりと横にゆれ始め、周りに置いてある物もゆれ始めました。ゆれている時間は長く感じ、こわいと同時に少し気持ち悪くなりました。

家に帰ってテレビをつけると、地しんのニュースばかりでした。宮崎でしん度6弱、鹿児島市で5弱でした。私は、こんなに大きい地しんを経験したのは初めてでした。今年の1月1日は、石川県ののと地しん、8年前は熊本地しん、そして私が生まれる1年前は、東日本大しん災と、大きな地しんは起こっています。

そこで、もし地しんにあったらどう対処すればいいのか、やったらいけないことは何か調べてみました。

自分の家の中で地しんが起きた時は、丈夫なテーブルの下にかくれる、家具や物が落ちてこない空間に移動する、など学校で習ったことが書いてありました。

もしスーパーなどで地しんにあった場合、窓や商品だなからはなれ、買い物かごなどで頭を守る、エレベーターに乗っていたら、すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる、と書いてありました。

次に、地しんが起きた時にやったらいけないことは何か調べてみました。海や川などの状態を見に行ったりしない、よく確認せずに、部屋の中を歩いてはいけない、と書いてありました。地しん後は、割れた窓ガラスや照明など、けがの原因になるものが散乱している可能性があるからです。そして、エレベーターに乗って閉じ込められている時は、声ではなく「音」を出して体力を温存するといいいと書かれてありました。

そして、地しんの備えで大切なことも調べてみました。1つ目は、き険な場所を確かめておくこと。2つ目は、逃げ方をおぼえたりすること。3つ目は、ひなん場所を決めておくこと、と書かれてありました。

地しんが起きた時は無理に体力を使わず、まずはつくえの下にかくれて身を守り、地しんがおさまるまで待機して、近くの公園の中央に集まったりするなどして、自分の命を守る行動が大切だと思いました。

8月29日、鹿児島に台風10号がきました。前日は、買い物に行き、ペットボトルの水やお茶、かん電池などを買いました。家に帰ると、母はたく上カセットコンロ、ガスボンベ、かい中電灯などを出して、1ヵ所にまとめていました。父は、窓のシャッターを閉めて、家の周りに置いてある物を片付けて、チェックをしていました。

「お風呂のお湯は捨てないでね。」

と母に言われました。夜になるとものすごい風の音がして、シャッターがガタガタゆれていました。台風は、地しんとは違い、天気予報をみながら準備ができます。それでも、風や雨の音が強くなると不安な気持ちが広がってきました。

自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。学校で毎年やっているひなん訓練は、とても大事なことだとあらためて思いました。ひなん訓練があった時は、よく話を聞き、いざというときにあわてないようにしたいと思います。また、ひなんできても、その後の生活もあります。もしかしたら土砂が崩れてくるかもしれません。ひなんして生活することも考えられます。家にあるもので、家族みんなが安心して過ごせるのか心配になってきました。次は、災害に備えた防災グッズや危険な場所についても調べてみようと思います。そして、少しでも安心して暮らせるようにしたいです。